

# 音読指導の今日的課題

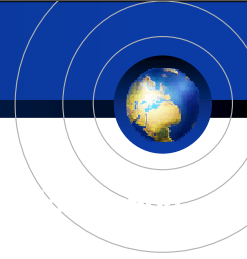


## リメディアルからシャドーイングまで

東京言語文化教育研究会 第21回定例研究会(5月31日 桜美林大学四谷キャンパス)

鈴木政浩 (西武文理大学)

# Stand By Me



- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 

- 
- 
- 
- 
- 

当日は歌詞を提示してギターで歌いました。

普段の授業の一場面を体験していただくために、ギターに合わせて歌いました。

## 洋楽を音読教材にする意義

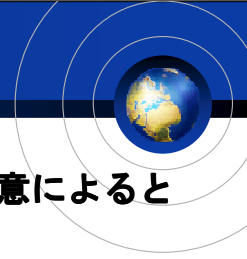
- ・ 言葉とメロディー
- ・ 歌詞とメッセージ
- ・ 生い立ち
- ・ リズム
- ・ 韻(プロソディー)



洋楽が音読教材としてふさわしい理由にはいくつかあります。歌詞とメロディーはもちろんですが、歌の背景にあるストーリーからも学べます。親の愛情に恵まれなかった**John**の生い立ちやその後の彼の人生から歌の内容を掘り下げながら、歌詞や**John**にまつわる**story**を読むことが可能です。十分な親の愛を受けずに育った学生も少なからずいるため、共感しながら学習を進める学生もいます。

## 先行研究から

### ・・・音読に関するQ&A（その1）



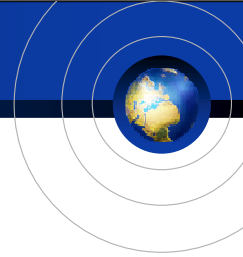
- 音読の際に生じる読み間違いは、生徒の不注意による  
ところが多い  
 Yes.    No.
- 授業で音読指導をかなりやっても授業外で練習しないか  
ら、生徒の音読能力が向上しない  
 Yes.    No.

**眼球運動の研究：読み間違える単語ほどよく見ている**  
→(眼球の停留時間が長い)

音読がうまくならないのは、生徒・学生がさぼっていると思われがちですが、必ずしもそうではありません。

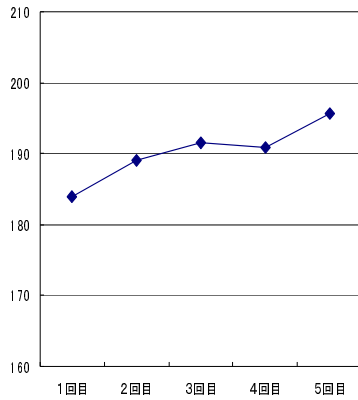
# 先行研究から

## 音読に関するQ&A (その2)



- 繰り返し読みの効用  
→ プロソディーの形成・語彙の定着・内容理解

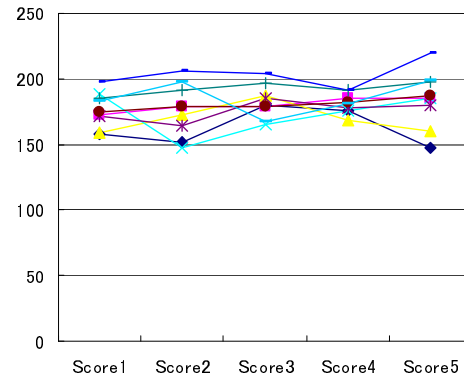
Speak! Score測定回数ごとのスコア推移



グラフ1 繰り返し音読とスコアの推移

飯野・阿久津・鈴木(2006)より

低修正率



グラフ2 繰り返し音読とスコアの推移

鈴木(2008a)より

特にモデル音声を聞いただけでは正しく発音できない、「自己補正能力の著しく低い」学生も実際存在します。

## 先行研究から

### ・・・音読に関するQ&A（その3）



- 外国語の能力を高めるのにメリットが大きいのはどちら？

フラッシュカード

フォニックス



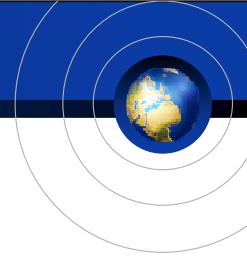
Whole Word Processing



Rule Oriented Teaching

フラッシュカード(Whole word processing)か、フォニックス(Rule oriented instruction)かという論議が行われていますが……。果たしてより効果的なのはどちらでしょうか。

## 海外における先行研究から ・ ・ ・ 音読に関するQ&A (その4)



### The position-of-irregularity effect

- 次の3つの単語を、音読の反応速度順に並べてみよう！

( 3 ) chef      ( 2 ) pint      ( 1 ) blind

反応速度: 文字を見てから発音するまでの速度

Coltheart & Rastle (1994)

Perry, C., Ziegler, J.C., & Zorzi, Marco. (2007)

不規則つづりが単語のどこに発生するかで反応速度が異なるそうです。語頭に不規則つづりがない場合、頭の辞書(mental lexicon)の中から、より近い発音の単語を検索するため、反応速度は比較的速いわけですが、語頭に不規則つづりがある場合、つづりを1つずつ確認しながら正しい発音にたどり着かねばならないため、反応速度は遅れるようです。

# 音読のモデル

- Coltheart, M., Curtis, B., Atkins, P., & Haller, M. (1993)

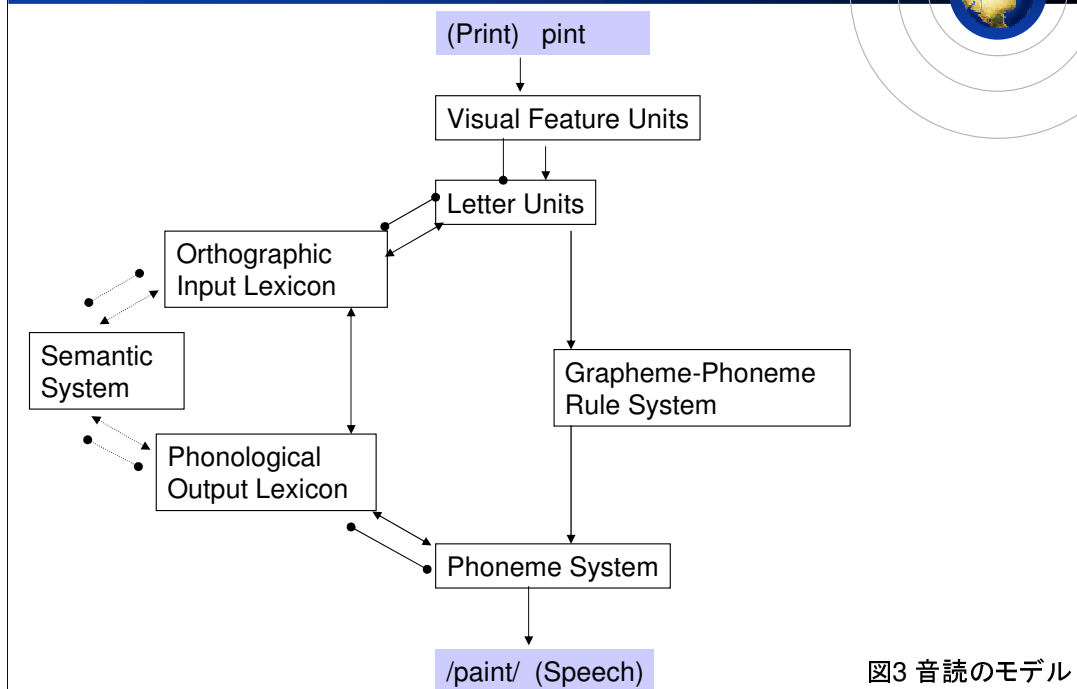


図3 音読のモデル

音読のモデルの一例です。人間の脳は、規則的なつづりと不規則なつづりを処理する回路が異なるため、フラッシュカードとフォニックスの両方を指導しなければならないことになります。

特にword recognitionの自動化にはフラッシュカードのように単語全体を読んで瞬時に発音ができることが必要です。独習の際には、ルールをヒントに自力で単語のつづりを音声化できるようにさせるなど使い分けるといった工夫ができます。



## 海外における先行研究から ・ ・ ・ 音読に関するQ&A (その5)



- 生徒が聞き取りやすいと感じるリスニング速度は、  
限りなくその生徒の\_\_\_\_\_に近い。

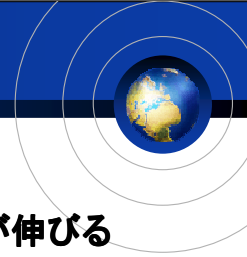
### 音読速度

Lass, N.J., & Cain, C.J. (1972)

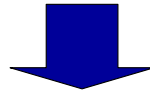


音読の速度と熟達度の間には、どうも何らかの関係がありそうだ。

## 経験的な知見から



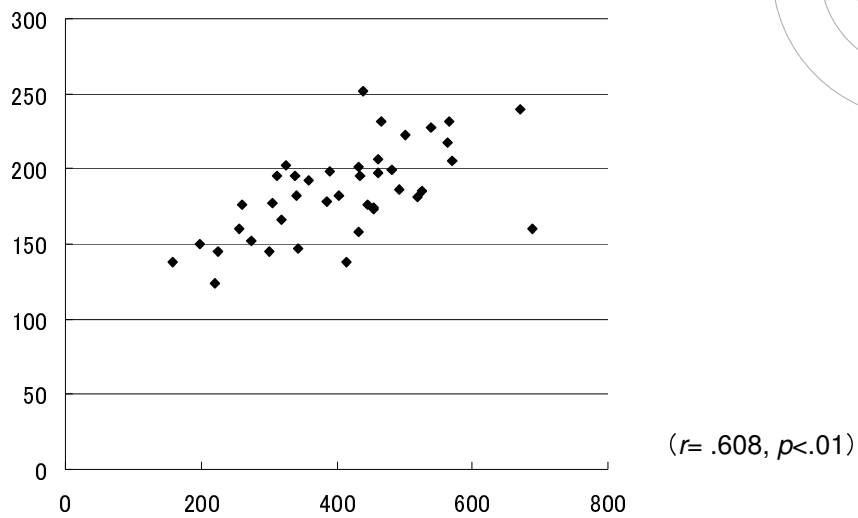
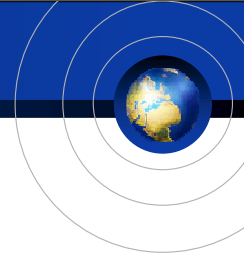
- 音読の後英文を書き写すと、英語の力が伸びる
- 難しい文章は指でなぞりながら読むと理解できる



音読の速度を下げることで得られるものがある

指でなぞりながら読むのは速度を下げるからよくないと言われることがあります。しかし初学者やslower learnersはあえて読みの速度を下げなければ内容理解に至らないこともあります。

## 音読能力と熟達度



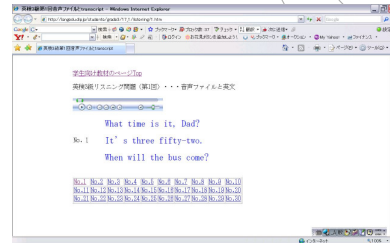
### ■ グラフ3 音読能力と熟達度の相関

阿久津・飯野・鈴木・大澤 (2006) より

横軸がCASECのスコア、縦軸はSpeak!という音読能力測定ソフトで学生の音読能力をスコア化した数値です。比較的高い正の相関が認められます。いわゆる空読みは音読につきものですから、あまり高すぎる相関は信憑性に欠け、この程度の相関が妥当と言えます。学習者の音読を聞けば、英語力がだいたいわかるという根拠になります。

## 自己補正能力の確認から パフォーマンスまで

- インtranet内のホームページを使った学習  
(英検3級リスニング問題)
- パソコンソフトSpeak!を使った音読の基礎練習
- 音読速度を上げる練習・シャドーイング
- 学生のパフォーマンス・・・  
CNN・洋画
- 練習→録音・ビデオ収録  
→鑑賞と評価

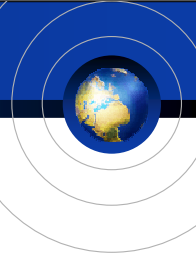


英検3級のリスニング問題をパラレルリーディングする活動は、学生の自己補正能力を知る上で役に立ちます。何度やっても合格しない学生には個別指導が必要です。

自力で音読できる学生には、**Speak!**などの独習ソフトでどんどん単語の意味と発音を確認させながら、できるだけ多くの英語に触れさせます。

音読の活動には、飽きが来ることが知られています。そこで洋画や海外のニュース番組を使いながら、ビデオ撮りや録音の課題を課し、動機付けと集中力を維持させます。

# 音読速度アップとシャドーイング



- 音読→リーディングスキルの向上
- シャドーイング→リスニングスキルの向上

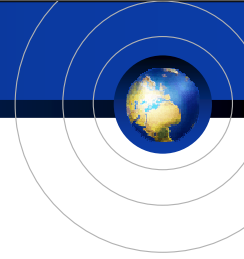
門田(2007)



音読の速度を上げることで身につくものもあるようだ



## Let's Try!



- A change is sweeping through the agriculture industry. Alongside traditional food crops, a new trend is emerging. A countess in England hopes that her non-food crops will eventually provide a cheaper, greener alternative to oil-derived plastics.

シャドーイングに学生を導くには丁寧な指導が必要です。当日は参加して下さった方々に英文の音読練習に取り組んでもらい、海外のニュース番組の音声がかゆりに聞こえるという疑似体験をしていただきました。

## Let's Try!



### ■ A change is sweeping

**through the agriculture industry.**

**Alongside traditional food crops,  
a new trend is emerging.**

**A countess in England**

**hopes that her non-food crops  
will eventually provide**

**a cheaper, greener alternative  
to oil-derived plastics.**

### • Words & Phrases

sweep through: さっと広まる  
the agricultural industry: 農業  
alongside: ~と平行して  
traditional: 従来の  
food crops: 食用作物  
emerge: 現れる  
countess: 伯爵夫人  
eventually: いずれは  
provide: ~を与える  
cheap: 安い  
green: 環境に配慮した  
oil-derived: 石油から生成された

Listen again !



Performance 1

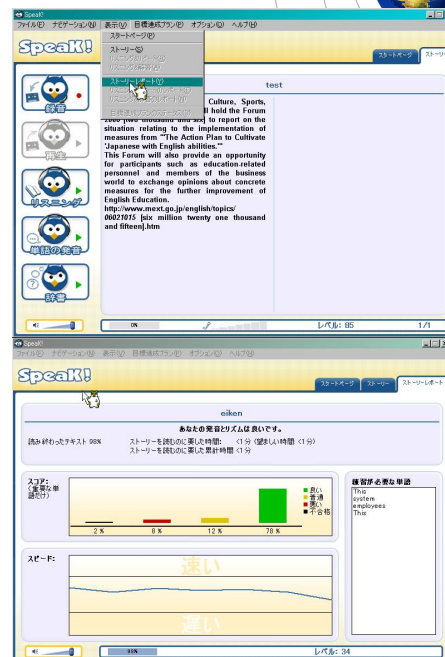
Performance 2

## 音読指導を成功させる いくつかの要素

- 必要に応じた個別指導と自立  
(パソコンソフトの活用)
- 読むに足るテキスト
- Small stepsと丁寧な指導
- 聞き手(audience)の存在
- 心理面への配慮



音読活動を成立・不成立は、**先生  
と生徒・学生との信頼関係**を反映  
する

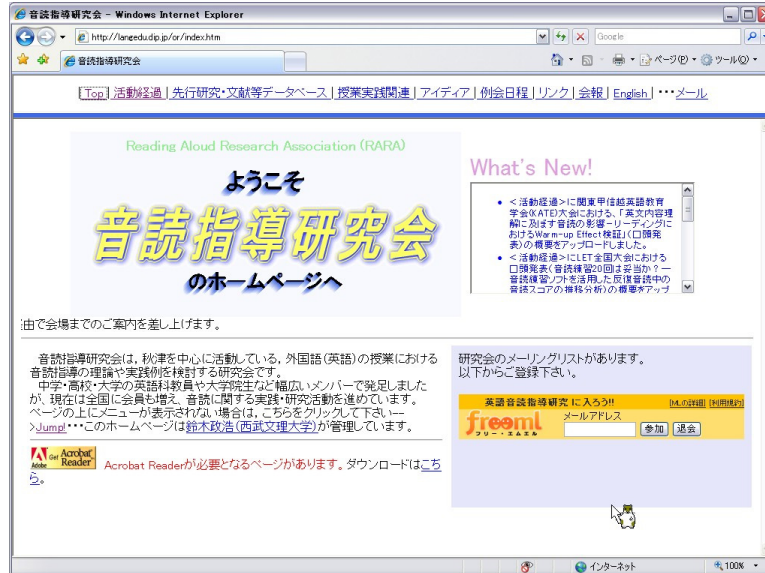


学習者の発達可能性を確信し、必ず伸びるという信念を持ってこそ、音読指導は短期間に驚くべき効果を発揮します。いろいろなツールを活用する以前に、そうした信念で学習者と対峙してこそ、ツールはより一層の威力を発揮することでしょう。

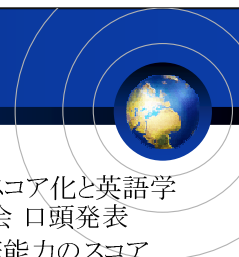


# 音読指導研究会ホームページ

■ <http://langedu.dip.jp/or/>



## References



- 阿久津仁史・飯野厚・鈴木政浩・大澤ゆかり (2006) 音読能力のスコア化と英語学力との相関に関する研究 外国語教育メディア学会(LET)全国大会 口頭発表
- 飯野厚・阿久津仁史・鈴木政浩 (2006) 音読ソフトを利用した音読能力のスコア化:習熟度との関係および繰り返し音読によるスコア変化の検証. KATE Bulletin (関東甲信越英語教育学会紀要) 第21号. 37-48.
- 門田修平 (2007) 『シャドーイングと音読の科学』 東京:コスモピア
- 鈴木政浩 (2008) 音読指導の盲点を踏まえた実践例 Interactive Vol.24 旺文社
- Coltheart, M., Curtis, B., Atkins, P., & Haller, M. (1993). Models of Reading Aloud: Dual-Route and Parallel-Distributed-Processing Approaches. *Psychological Review*. 100-4, 589-608.
- Coltheart, M., & Rastle, K. (1994). Serial Processing in Reading Aloud: Evidence for Dual-route Models of Reading. *Journal of Experimental Psychology: Human Perception and Performance*. 20, 1197-1211.
- Lass, N.J., & Cain, C.J. (1972). A Normative Study of Listening-Rate Preferences of Adults. *The Journal of the Acoustical Society of America*, 52, 133.
- Perry, C., Ziegler, J.C., & Zorzi, Marco. (2007). *Psychological Review*, 114, 273-315.